

キューピーグループの事業活動

創始者である中島董一郎は、1910年代、当時の農商務省による海外実習生として英国と米国に約3年滞在し、そこで、オレンジママレードとマヨネーズに出会いました。

1923年の関東大震災からの復興の中で、女学生の装いが洋風化するなど生活様式が変化する様子を見た中島董一郎は、食卓にも変化が訪れると感じ、1925年に卵黄タイプで栄養価の高い「キューピー マヨネーズ」を発売しました。そして、副産物である卵白の活用に取り組み始め、やがて卵黄や全卵も加工して販売するようになり、タマゴ事業が発展していきました。

また、1932年には「アラハタ ママレード」を発売しました。様々な素材の加工技術、缶詰の技術などを開発・応用することで、ジャムやパスタソース、育児食や介護食などの商品の展開につながりました。

さらに、働く女性や単身世帯の増加、核家族化などの社会的変化を受けて、手軽に無駄なくサラダを食べて欲しいという想いから惣菜やパッケージサラダを提供するようになり、現在のサラダ・惣菜事業が発展していきました。

当社グループは1919年の食品工業株式会社(現:キューピー株式会社)創業以来「良い商品は良い原料からしか生まれない」というものづくりの考え方や、食に携わるものの心構えとして「正直」「誠実」を愚直に守り続けることを大切に商品づくりに努めてきました。

これからも、創業の想いを受け継ぎ、世界の食と健康に貢献するグループをめざして新しい挑戦を続けていきます。



※ 共通事業は、食品製造機械の販売やグループ各社の経理や労務、障害者雇用の推進などの業務を行っている会社から構成されています。

事業	概要	主な商品
調理・調味料	日本で初めてマヨネーズ・ドレッシングの製造・販売を開始、その後、調理技術を磨き、パスタソースなどの調理食品、育児食、介護食など、時代に先駆けた商品を製造・販売してきました。事業は国内外に拡大し、家庭の食卓やレストラン、弁当・惣菜など、あらゆる食シーンに商品を販売しています。	マヨネーズ、ドレッシング、パスタソース、介護食
サラダ・惣菜	地域ごとの嗜好にきめ細かく対応した惣菜や、鮮度にこだわったパッケージサラダ(家庭用カット野菜)など、ライフスタイルの変化によって多様化するニーズに応えています。全国各地の生産拠点からスーパーマーケットを中心に商品を販売しています。	ポテトサラダ、パッケージサラダ(家庭用カット野菜)、惣菜
タマゴ	卵の特性を活かした技術の創出と、その技術を活用した商品を製造・販売し発展してきました。様々な商品の原料となる液卵・凍結卵などの素材のほか、オムレツやたまごサラダなどの加工品をコンビニエンスストアや外食チェーンなどに幅広く販売しています。	調理用全卵、とろっとたまごシリーズ、家庭用タマゴ加工品
フルーツソリューション	事業の礎であるオレンジママレードの製造を通じて、原料調達力、フルーツ加工技術、おいしさを長持ちさせる技術を磨き上げてきました。ジャム・スプレッドのほかにも、食品メーカー向けにフルーツ加工品を販売しています。	ジャム、塗るテリーヌ、フルーツスプレッド
ファインケミカル	卵に含まれる様々な有効成分を取り出し活用したいという想いから生まれた事業です。卵の持つ力を価値に変え、レシチンやリゾチーム、卵殻膜などを商品化しました。さらに領域を拡げ、鶏冠からの抽出技術や発酵技術を活用したヒアルロン酸を医薬品、食品、化粧品原料として販売しています。	ヒアルロン酸(メーカー向け原料)、ヒアルロン酸配合サプリメント(機能性表示食品)、酢酸菌含有加工食品
物流	食品物流専門のグループ会社が食品特性に合わせて、常温・定温・冷蔵・冷凍の4温度帯で品質・鮮度を守り抜く物流を整備し、船舶・タンクローリーをはじめとする原料輸送サービスから、スーパーマーケット・飲食店・コンビニエンスストア向け店舗配送まで総合的に手がけています。	トラック輸送

※ 各事業を構成する会社については、P.37をご参照ください。
 ※ 各事業の商品やサービスは主要なものを掲載しています。